

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 タカセ株式会社

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 島津 和人

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,250	3.3	△17	—	△2	—	△3	—
26年3月期第1四半期	2,179	△2.1	△32	—	△21	—	△19	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △18百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 17百万円 (△67.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.37	—
26年3月期第1四半期	△1.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	9,828	6,738	68.6	674.20
26年3月期	9,791	6,861	70.1	686.54

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 6,738百万円 26年3月期 6,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	4.8	88	—	95	—	55	—	5.50
通期	9,500	5.0	231	—	240	—	145	—	14.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	10,545,133 株	26年3月期	10,545,133 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	550,386 株	26年3月期	550,386 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	9,994,747 株	26年3月期1Q	10,045,813 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 一般概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策による内需の拡大等により、企業業績や景気の緩やかな回復が期待されますが、地政学的リスクや消費税増税等の影響により、設備投資や個人消費などの面で不透明な状況が続いております。

当社グループの属する物流業界は、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による収受料金の低下、国内大手輸配送業者による運賃仕入れコストの値上げ攻勢、さらには燃料費の高騰といった厳しい事業環境の中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られ、期待利益の確保が厳しくなっております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすため、国内物流拠点や海外ネットワークの拡大・充実および輸配送にかかる商品開発に取組み、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大に最大限注力しつつ、業務品質の維持・向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は、一部既存顧客に消費税増税前の駆込み需要の反動による取扱物量の減少が見られたものの、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大を図ったことにより、前年同期間と比較して3.3%増の22億50百万円の計上となりました。また、利益面におきましては、運賃仕入れコストの値上げや燃料費の高騰による費用増加や、国内物流拠点拡大と輸配送にかかる商品開発にともなう一過性の初期費用が発生したことのほか、新規顧客や既存顧客の業務量拡大にあわせた業務品質の維持・向上に対処したため、労務費の増加をまねいてしまったことにより、営業損益は17百万円の営業損失（前年同期間は32百万円の営業損失）を余儀なくされました。また、経常損益は2百万円（前年同期間は21百万円の経常損失）の経常損失となり、さらに、四半期純損益は、3百万円（前年同期間は19百万円の四半期純損失）の四半期純損失となりました。

② 報告セグメントの概況

A. 総合物流事業におきましては、一部既存顧客に消費税増税前の駆込み需要の反動による取扱物量の減少が見られたものの、国内物流拠点や海外ネットワークの拡大・充実により、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大を図ったことにより、営業収益は前年同期間と比較して4.9%増の22億11百万円となりました。また、営業総利益は、国内物流拠点拡大にともなう一過性の初期費用が発生したことのほか、新規顧客や既存顧客の業務量拡大にあわせ業務品質の維持・向上に対処したため、労務費の増加をまねいてしまったものの、営業収益増加により、前年同期間と比較して6.5%増の2億3百万円となりました。

B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、輸配送にかかる商品開発の取組みにより、新規顧客の導入が図れたことから、営業収益は前年同期間と比較して9.6%増の2億67百万円となりました。一方で、営業総利益は、不採算業務の効率化などのコスト改善に努めたものの、燃料費の高騰による費用増加や輸配送にかかる商品開発にともなう一過性の初期費用が発生したことにより、前年同期間と比較して76.8%減の1百万円となりました。

C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、流通加工にかかる取扱物量の減少により、営業収益は前年同期間と比較して3.3%減の3億1百万円となりました。また、営業総利益は、営業収益の減少により、前年同期間と比較して2.1%減の22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ37百万円(0.4%)増加し、98億28百万円となりました。

この主な要因は、有形固定資産の合計が30百万円減少した一方で、その他の流動資産が77百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億60百万円(5.5%)増加し、30億90百万円となりました。

この主な要因は、短期借入金が1億9百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円(△1.8%)減少し、67億38百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億4百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、各利益項目において、営業損失、経常損失、四半期純損失の計上を余儀なくされておりますが、平成27年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想は、前回公表(平成26年5月14日付平成26年3月期決算短信)のとおり、現時点での修正はありません。

今後の業況を見極めた上で、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,036,578	3,032,419
受取手形及び売掛金	1,070,133	1,049,810
前払費用	40,117	51,686
原材料及び貯蔵品	11,858	11,746
繰延税金資産	77,432	86,946
未収法人税等	35,254	26,636
その他	130,695	208,141
貸倒引当金	△214	△222
流動資産合計	4,401,855	4,467,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,202,719	8,203,364
減価償却累計額	△6,051,767	△6,094,642
減損損失累計額	△104,535	△104,535
建物及び構築物(純額)	2,046,417	2,004,186
機械装置及び運搬具	2,085,231	2,069,778
減価償却累計額	△2,006,369	△1,976,777
機械装置及び運搬具(純額)	78,861	93,001
土地	1,574,272	1,574,272
その他	442,044	447,285
減価償却累計額	△352,135	△359,357
その他(純額)	89,909	87,927
有形固定資産合計	3,789,460	3,759,387
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	95,130	89,676
無形固定資産合計	553,616	548,163
投資その他の資産		
投資有価証券	509,746	507,518
繰延税金資産	193,523	197,183
その他	354,244	359,531
貸倒引当金	△10,583	△10,083
投資その他の資産合計	1,046,930	1,054,150
固定資産合計	5,390,007	5,361,700
資産合計	9,791,863	9,828,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	465,409	458,725
短期借入金	530,000	639,000
未払費用	127,049	151,652
未払法人税等	8,784	8,572
賞与引当金	64,922	105,974
役員賞与引当金	-	3,837
その他	106,974	125,092
流動負債合計	1,303,140	1,492,855
固定負債		

社債	500,000	500,000
長期借入金	460,000	420,000
役員退職慰労引当金	96,854	100,956
退職給付に係る負債	570,052	576,629
固定負債合計	1,626,907	1,597,585
負債合計	2,930,047	3,090,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,562,845	2,454,165
自己株式	△145,503	△145,503
株主資本合計	6,721,191	6,612,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,479	88,044
為替換算調整勘定	51,144	37,868
その他の包括利益累計額合計	140,624	125,913
純資産合計	6,861,816	6,738,424
負債純資産合計	9,791,863	9,828,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収益	2,179,424	2,250,917
営業原価	1,966,362	2,027,693
営業総利益	213,062	223,224
販売費及び一般管理費	245,819	240,352
営業損失(△)	△32,757	△17,128
営業外収益		
受取利息	235	223
受取配当金	12,664	17,335
受取賃貸料	1,012	1,009
その他	2,892	1,063
営業外収益合計	16,805	19,631
営業外費用		
支払利息	4,027	4,798
支払補償費	880	313
その他	390	102
営業外費用合計	5,298	5,214
経常損失(△)	△21,250	△2,710
特別利益		
固定資産売却益	49	64
特別利益合計	49	64
特別損失		
固定資産除売却損	11,815	32
特別損失合計	11,815	32
税金等調整前四半期純損失(△)	△33,015	△2,678
法人税、住民税及び事業税	12,382	13,438
法人税等調整額	△25,492	△12,381
法人税等合計	△13,109	1,056
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△19,905	△3,735
四半期純損失(△)	△19,905	△3,735

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△19,905	△3,735
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	12,915	△1,434
為替換算調整勘定	24,918	△13,275
その他の包括利益合計	37,833	△14,710
四半期包括利益	17,927	△18,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,927	△18,446
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,104,399	24,419	41,622	2,170,441	8,983	2,179,424
セグメント間の内部営業 収益または振替高	4,846	219,760	270,297	494,905	27,599	522,505
計	2,109,246	244,180	311,919	2,665,346	36,583	2,701,929
セグメント利益	191,263	5,417	22,647	219,327	3,928	223,256

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	2,179,424
セグメント間の内部営業 収益または振替高	△522,505	—
計	△522,505	2,179,424
セグメント利益	△10,194	213,062

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△10,194千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,198,295	28,351	16,142	2,242,789	8,127	2,250,917
セグメント間の内部営業収益または振替高	13,632	239,227	285,618	538,478	29,795	568,274
計	2,211,928	267,579	301,761	2,781,268	37,922	2,819,191
セグメント利益	203,648	1,258	22,170	227,078	4,267	231,345

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	2,250,917
セグメント間の内部営業収益または振替高	△568,274	—
計	△568,274	2,250,917
セグメント利益	△8,121	223,224

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△8,121千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。